

F SPORT PARTS (TRD)

MS313-76001/2

リヤディフューザー

取付取扱要領書

この度はF SPORT PARTS(TRD)リヤディフューザーをお買い上げ頂きありがとうございます。
本商品を正しくお使い頂く為に、裏面の注意書と下記をよくお読みになった上で装着し、安全にご使用頂くよう、
お願い致します。なお本書は必ずお客様にお渡しください。

★本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付は車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合

品 番	塗 装 色	適 合 車 種	型 式	年 式	備 考
MS313-76001-A1	杓杓ノグァガラスレク(083)	CT200h F SPORT	ZWA10	'13.12 ~	
MS313-76001-C0	ブラック (212)				
MS313-76002-00	未塗装品 (プライマー処理品)				

*ディーラーオプションを含み、他社製品との同時装着を想定しておりません。

他社製品との同時装着の際は、あらかじめ確認を実施してください。

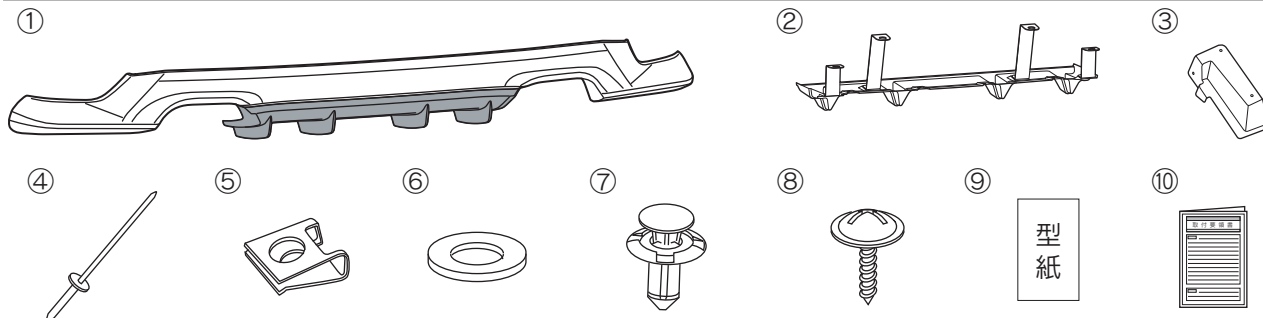
*本商品は別売りのスポーツマフラー(MS153-76001)との同時装着が必須となります。

■ 構成部品

	部 品 名	品 番	数 量	備 考
①	リヤディフューザー		1	
②	アンダーディフューザー		1	
③	アンダーカバー		1	
④	リベット		3	
⑤	Jナット		4	M5用
⑥	ワッシャー		2	
⑦	クリップ		2	
⑧	タッピングスクリュー		4	M5×15
⑨	型紙		1	A4シール
⑩	取付・取扱要領書		1	本書は大切に保管してください。

以下、MS313-76002-00 (未塗装品セット) のみに同梱

⑪	PACプライマー		1	K-500
⑫	モール		各1	黒/グレー L=1300mm
⑬	モール		各1	黒/グレー L=500mm



以下、MS313-76002-00(未塗装品セット)のみに同梱



■取付・取扱上の注意

この取付・取扱要領書では安全にご使用いただく為に、特にお守り頂きたいことなどを、次のマークで表示しています。

 警告	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと、人が死亡したり、重傷を負う可能性がある内容について書かれています。
 注意	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと、人が障害を負ったり、製品等の物的損害に結びつく可能性がある内容について書かれています。
 アドバイス	スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

確認 本商品が到着後、すぐに本体に破損が無いこと、付属品が全て揃っていることを確認してください。

確認 本商品は過去に事故歴のない車、事故歴があっても正常に修復された車には確実に装着出来ます。

 **警告** 取付作業は、必ず平坦な場所でエンジンを切り、サイドブレーキがかかっていることを確認後行ってください。不安定な場所で作業、車両が動く状態で作業は重大な事故原因となります。

 **警告** エンジンルームやマフラー等の付近で作業を行う場合、ヤケド等の重大な怪我に注意してください。

 **警告** 本商品への改造・加工、適合車種以外への装着は絶対に行わないでください。破損や事故の原因となります。

 **警告** 取付けの際は、指定トルクに従って各タッピングスクリューを十分に締め付けてください。取付け時に緩みがあると徐々に緩みが大きくなり、脱落等により重大な事故、故障の原因となります。

 **警告** 取付け初期は、タッピングスクリューが緩みやすいので、数キロ走行後には必ず増し締めを行ってください。

 **警告** 取付け後、本商品と他の部品とが干渉していないかを確認してください。干渉している場合は、本商品を購入した販売店にご相談ください。そのまま走行すると破損や故障の原因となります。

 **警告** 本商品装着後に、衝突等の強い衝撃を受けた場合、取付部分や本体に変形や破損、故障を生じる場合がありますので、直ちにご使用を中止し、整備工場にて点検を受けて下さい。

 **警告** 走行中に異常な振動や異音等を感じたら直ちに安全な場所に停車し、レクサス販売店にて点検を受けてください。そのまま走行を続けると、車両の破損や事故の原因となります。

 **警告** 本商品は舗装路での走行を想定して設計されています。悪路や雪道での走行は、商品によっては破損の原因になりますのでお止めください。

 **警告** 本商品には十分な強度・耐久性を持たせてありますが、保管条件や取扱条件、走行条件によっては破損、故障が起こる可能性があります。保管、取付作業、ご使用に際しては十分にご注意ください。

 **注意** 本商品の交換・取付作業は必ずレクサス販売店で実施してください。

 **注意** 本商品の取付の際は本書を良くお読み頂き、注意・警告事項を守って作業を行ってください。

 **注意** 本商品は各構造基準に適合しているため、車検時も通常の検査と同様に受けられます。ただし適合車種以外に装着した場合、またはその他の部位を改造しているなどの使用状況によっては、その限りではありません。

 **注意** 未塗装品セット(MS313-76002-00)は未塗装の為、車両の外板色に合わせた塗装が必要になります。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定し、70℃以下で乾燥させてください。

 **注意** 未塗装品を塗装前に脱脂する場合、IPA又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフ及びシンナーは使用しないでください。

 **注意** 焼付け塗装の際に、乾燥温度を70℃以上に上げると、製品に変形や割れが発生しますので、乾燥温度には十分注意してください。

 **注意** 本書で指示した以外の車両部品を取り外さないでください。

 **注意** 車両部品の取外しに際し、タッピングスクリューの紛失や混乱が無いように、部品毎に整理し、復元する際、間違えないよう配慮してください。

 **注意** 車両部品の脱着および車両へのリヤディフューザーの取付け時の傷付き防止のため、作業前に保護シートを準備し、取付け作業は必ず保護シートの上で行ってください。

また、取付け作業時には車両部品に傷を付けないように十分に注意してください。

 **注意** 両面テープの接着力最大限に発揮させる為貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めて下さい。

 **注意** お手入れの際には、シンナー、ガソリン等の有機溶剤は使用しないでください。変色・変形の原因となります。

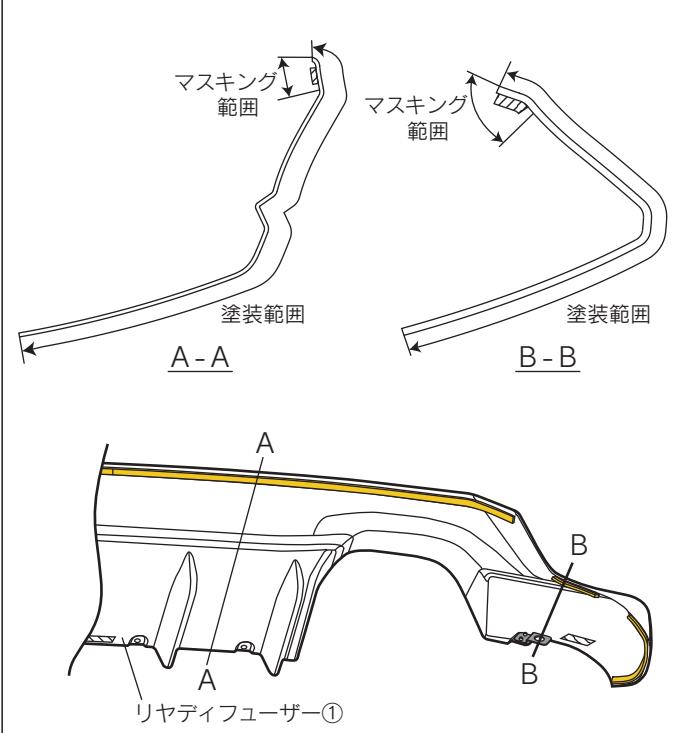
 **注意** 取付作業や走行により、車両本体、または本商品が損傷した場合のクレームには応じかねます。

上記の事項と本書の装着要領を必ずお守りください。

■未塗装品の取扱いについて

下記は、未塗装品 (MS313-76002-00) の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。

図1



※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

□リヤディフューザーの塗装

1. 図1のようにリヤディフューザー①を塗装する。
2. 図2のようにリヤディフューザー①にマスキングテープ等を貼り、見切りラインを作る。
3. 2で貼り付けたマスキングテープにあわせてその他の部分をマスキングし、艶消し黒 (グロス10) 相当を塗装する。

△注意：脱脂をする場合は、IPA又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。
サーフェーサーが溶ける恐れがあります。

△注意：モール貼り付け面、両面テープには、絶対に塗装しないでください。
接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

△注意：乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので、乾燥温度には十分注意してください。
強制乾燥させる場合は、製品が変形しないように固定してください。

図2

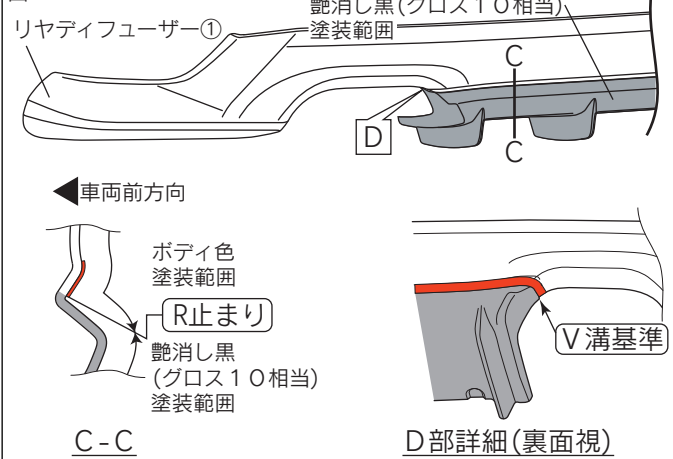
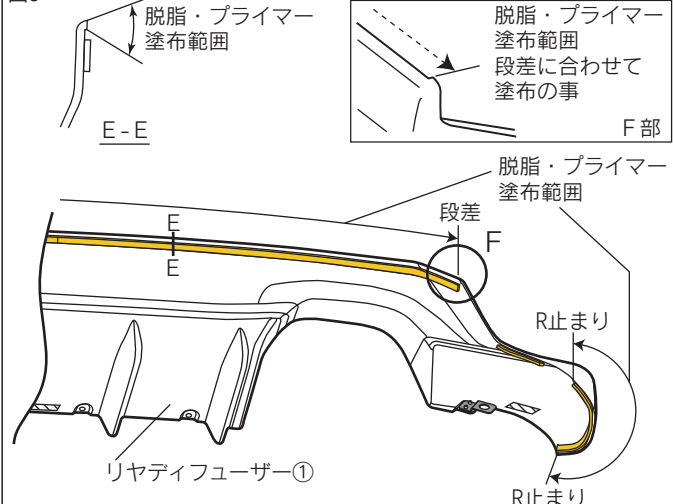


図3



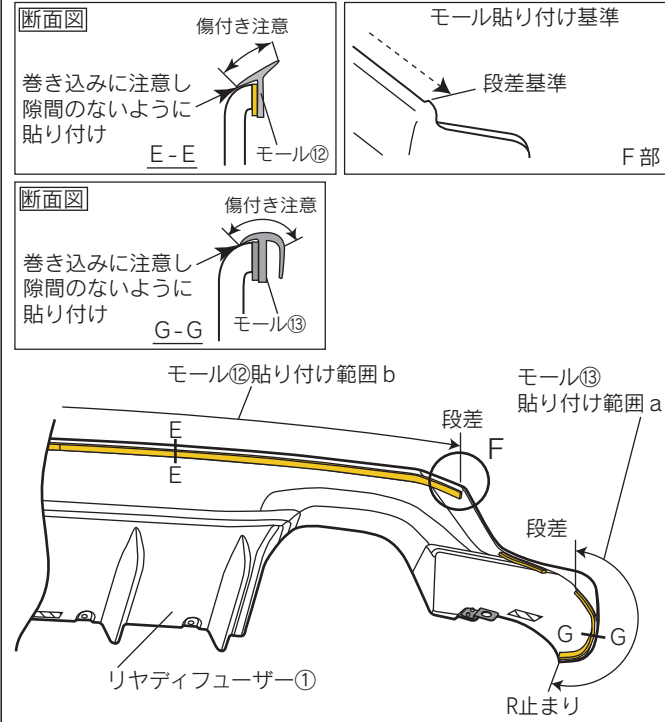
□モールの貼付け

1. 図3のようにモール貼り付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで方向について脱脂し、PACプライマーK-500⑪を塗布する。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残し、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。

👉 アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。

図4



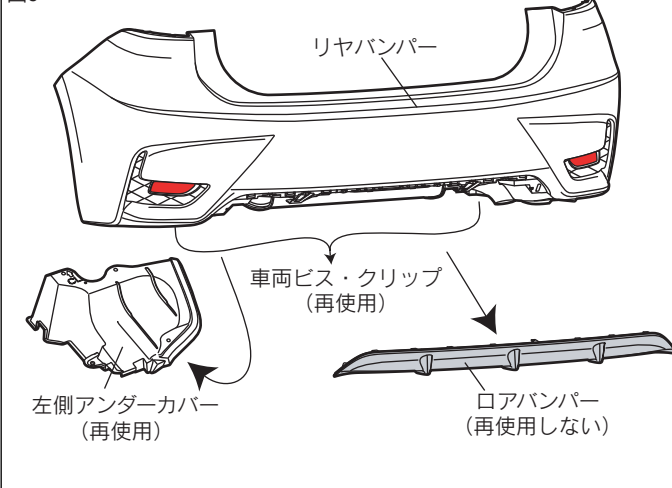
※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

2. 図4のようにリヤディフューザー①に、モール⑫⑬の両面テープの離型紙を剥がしながら、貼り付け圧着する。
 {49N (5kgf) 以上}
 モールは長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落とす。

🔧 アドバイス：モールは、二色同梱されています。塗装色に合わせたモール色を選択し、貼付けてください。

⚠ 注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めて下さい。

図5



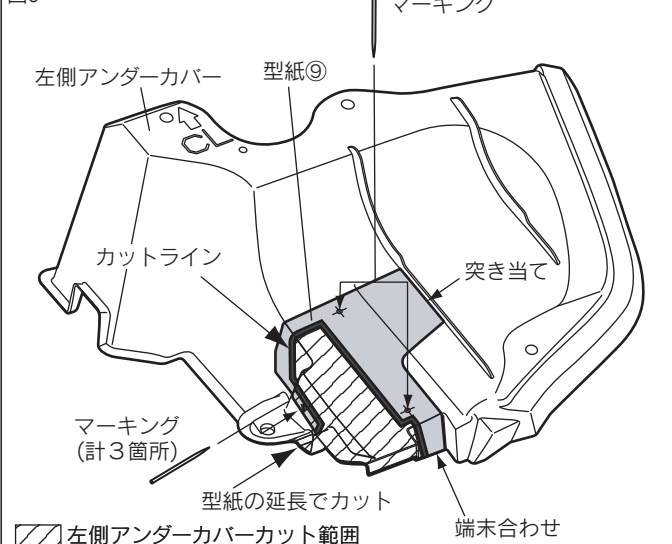
■取付準備

1. 車両からロアバンパーと左側アンダーカバーを取り外す。

⚠ 注意：取外した車両ビス、クリップ、左側アンダーカバーは再使用しますので、無くさない様に必ず保管してください。

⚠ 注意：ロアバンパーと左側アンダーカバーを取外す際は、車両修理書を参照し、部品の破損に注意してください。

図6



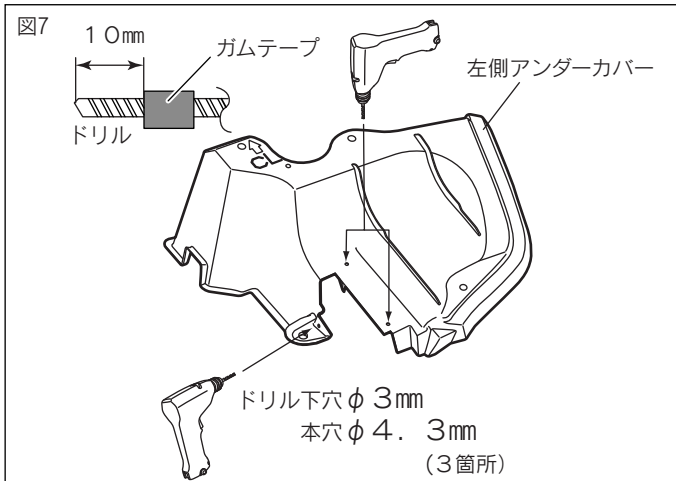
2. 型紙⑨Aを台紙から剥がし、図6のように左側アンダーカバーの下面部に貼付け、マーキングする。
 3. 型紙⑨のカットラインに合わせてエアソー等で切り取ってから、切り口にできた断面のバリを取り除く。

⚠ 注意：作業時は保護メガネを着用してください。

⚠ 注意：カットする際に、怪我に注意してください。
 又、アンダーカバーへの傷つきに注意してください。

⚠ 注意：バリを取り除く時には、カットラインが歪まないように注意してヤスリ等で取り除いてください。

4. 型紙⑨を左側アンダーカバーから剥がす。



5. 図7のようにφ3mm、φ4.3mmのドリル先端にストッパーとなるようゴムテープを巻き付け、左側アンダーカバーをφ3mmでマーキング位置に下穴をあける。(3箇所)

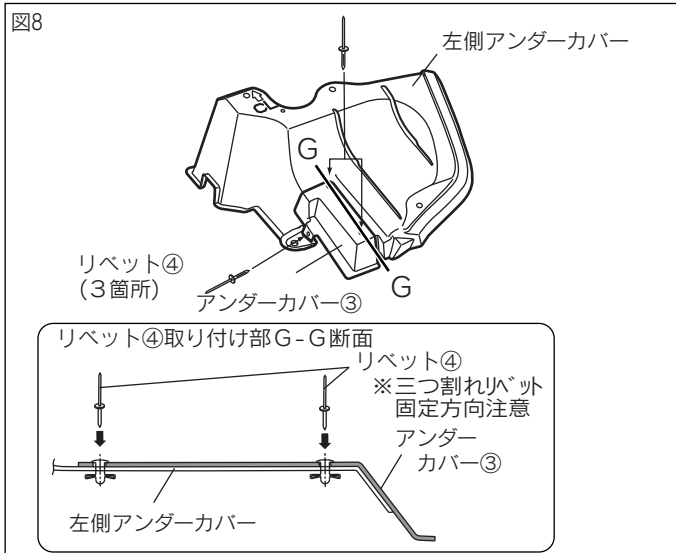
6. 図7のように左側アンダーカバーをφ4.3mmのドリルで本穴をあけ、穴のバリを取り除く。(3箇所)

△警告：穴あけ加工時に間違った寸法で穴を開けた場合は取り付けの事が出来なくなります。必ず指示寸法で穴あけを行ってください。

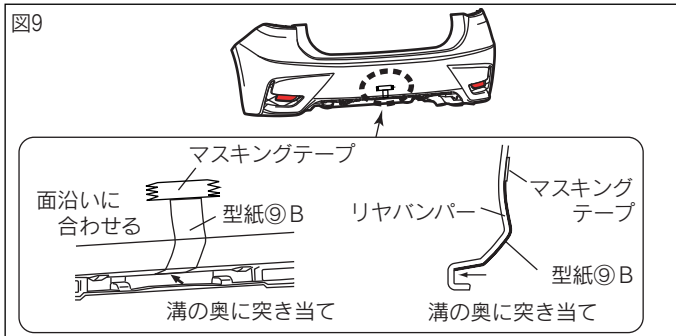
△アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

△注意：作業時は保護メガネを着用してください。

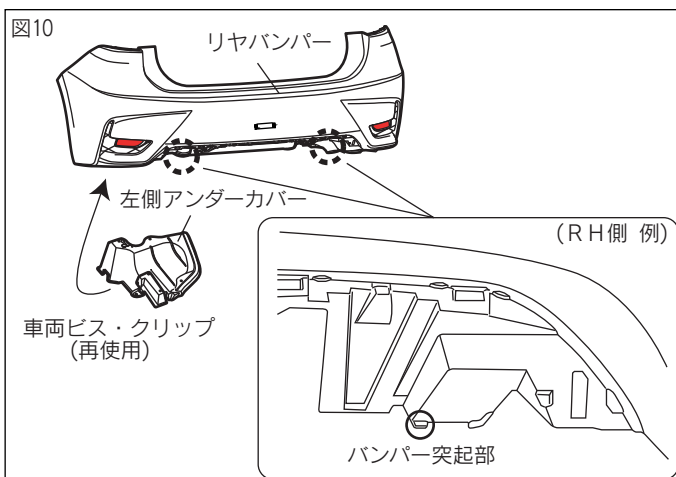
△注意：バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いてください。



7. 図8のように左側アンダーカバー切取部にアンダーカバー③を被せて、リベット④で取り付ける。(3箇所)



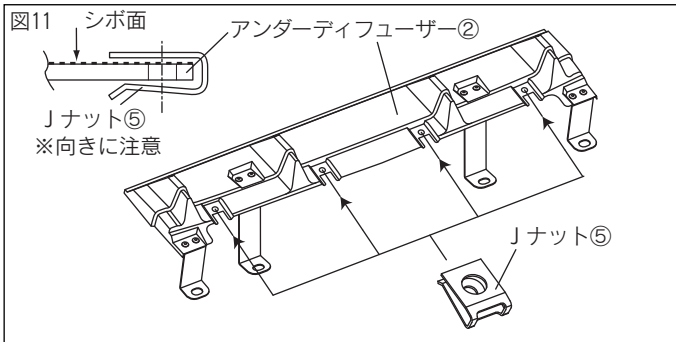
8. 型紙⑨Bを台紙から剥がし、図9のようにリヤバンパーの中央の溝の奥に突き当てながら、面沿いに合わせて貼り付け、マス킹テープで高さ位置をマーキングし、型紙⑨Bを剥がす。(中央1箇所)



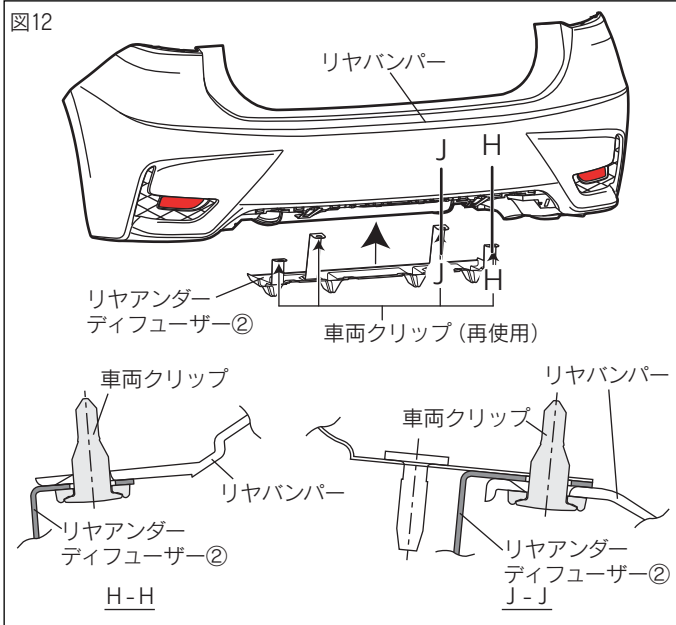
9. 図10のようにリヤバンパー下面の突起を、ニッパー等で切り取ります。(左右各1箇所)

10. 図5で取り外した逆の手順で左側アンダーカバーを車両に取り付けます。

△注意：左側アンダーカバーを車両に戻す際は、車両修理書を参照し、部品の破損に注意してください。

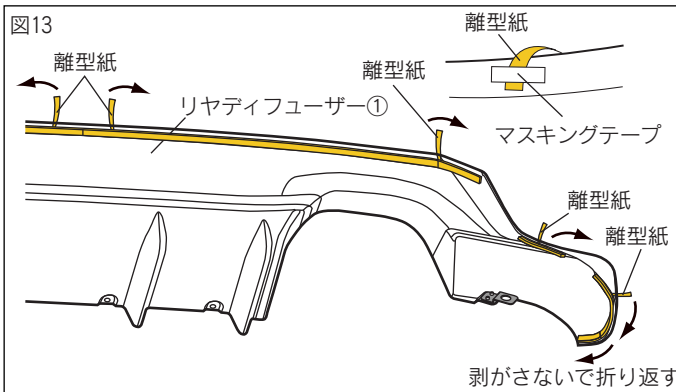


11. 図11のようにアンダーディフューザー②にJナット⑤をシボ面側が平らになるように差し込む。
(4箇所)



12. 図12のように車両クリップを用いてリヤアンダーディフューザー②を車両に取り付ける。

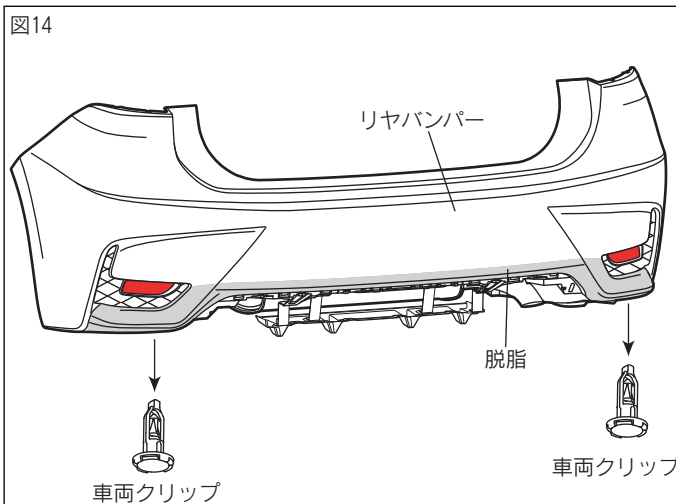
アドバイス：長いブラケットは、車両パネルとバンパーとの間に、はさんでください。



13. 図13のようにリヤディフューザー①の両面テープの離型紙を、上側(左右各3箇所)は、矢印の向きに約30mm剥がし、側面(左右各2箇所)は剥がさずに、マスキングテープ等で表側に貼り付ける。

△注意：両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取り付け位置に取り付けが出来なくなります。

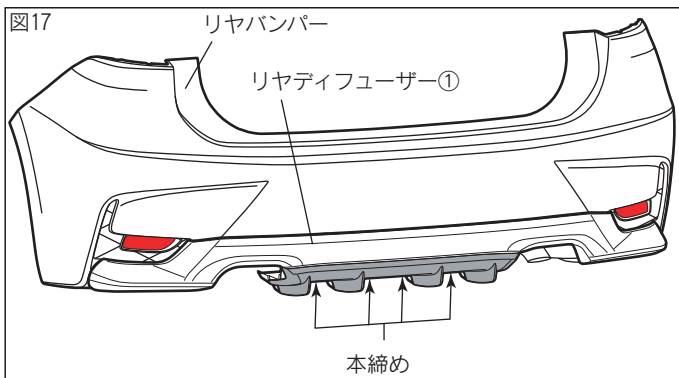
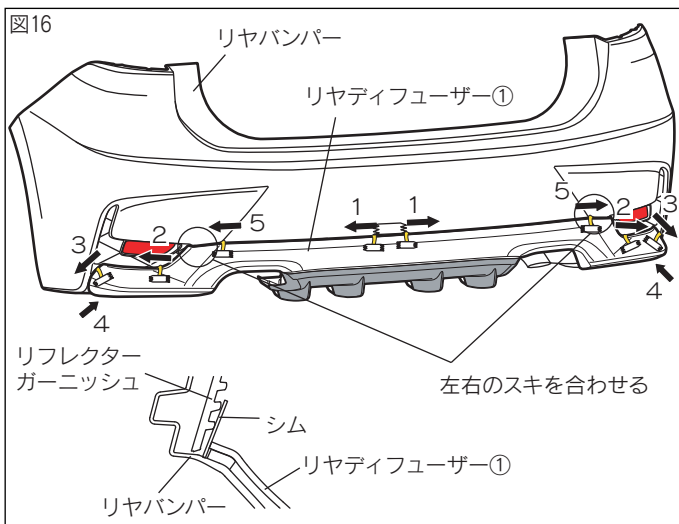
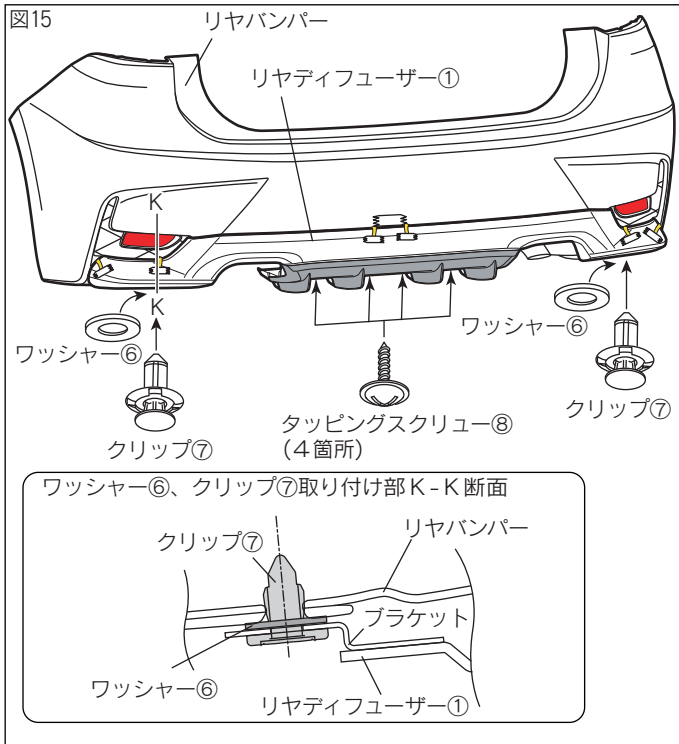
14. 図14のようにリヤバンパーのリフレクター下の車両クリップを外す。
(左右各1箇所)



15. 図14のようにリヤバンパーのリヤディフューザー①取り付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで方向にふいて脱脂する。

△警告：ボディーコーティングが施されている場合は、塗装にキズをつけないよう、コンパウンド等で除去した上で、必ず脱脂を行ってください。

△注意：脱脂を行う際はIPA又はホワイトガソリンを使用し、パーツクリーナーは使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。



■取付完了後の点検・注意事項

1. リヤディフューザー、及びリヤバンパーがタッピングスクリー・クリップ・リベットにて、車両に確実に取り付けられているか点検する。
2. リヤディフューザー及び車両部品に傷を付けていないか点検する。
3. 製品の全周に渡り、浮き、剥がれの無い事を確認する。

□取付要領

1. リヤディフューザー①をリアバンパーにかぶせ、リアディフューザー①のブラケットとリアバンパー間にワッシャー⑥を挟みクリップ⑦(左右各1箇所)で固定し、下面をタッピングスクリー⑧で仮締めする。(左右各2箇所)
2. リヤディフューザー①中央を高さマーキング位置に合わせ、左右のリフレクターガーニッシュとの間隔が左右均等であることを確認し、1の両面テープの離型紙を剥がし貼付け圧着する。
3. リヤディフューザー①とリアバンパーのリフレクターガーニッシュの間に厚さ1mmのシム等を挟み、隙が無いを確認し、両面テープの離型紙を左図番号の順に剥がし貼付け圧着する。{ 49N (5kgf) 以上 }

△注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めて下さい。

△注意：両面テープの離型紙を剥がす際、離型紙を切らない様にしてください。

△注意：両面テープの離型紙を図16で指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

△警告：両面テープは圧着ムラのない様に十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

△注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。

👉 アドバイス：厚さ1mmのシムをご用意してください。無い場合は、厚さ約1mmのワッシャー等で代用してください。

4. 仮締めしているタッピングスクリー⑧を本締めする。(左右各2箇所)
5. 高さ位置用のマスキングテープを剥がします。

F SPORT PARTS (TRD)

MS153-76001

スポーツマフラー

'10.04 ~新規制対応商品 取付取扱要領書

この度はF SPORT PARTS(TRD)スポーツマフラーをお買い上げ頂きありがとうございます。

開封時に必ず構成部品があること、製品に傷、凹み等が無い事をご確認下さい。車両取付後のクレームに対しては応じられませんので、必ず確認を実施して下さい。本書には上記品の取付要領と取扱について記載してあります。

取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付、取扱を実施して下さい。なお本書は必ずお客様にお渡し下さい。

★ 本商品は未登録車への取付は出来ません、取付は車両登録後に行ってください。

■品番・適合

品 番	適 合 車 種	型 式	エンジン	年 式	備 考
MS153-76001	CT200h F SPORT	ZWA10	2ZR-FXE	'13.12 ~	*1 *2

*1 純正ガスケット(品番 17451-23042)は同梱されておりません、別途ご手配願います。

*2 別売のリヤディフューザー(MS313-76001)との同時装着が必須となります。

(同時装着の際は、リヤディフューザーを先にお取付け下さい)

■構成部品

	部 品 名	数 量	備 考
①	センターパイプ Assy	1	
②	メインマフラー Assy	1	
③	リングガスケット	1	①×②の締結部に使用。
④	フランジボルト	2	①×②用
⑤	フランジナット	2	①×②用
⑥	取付取扱要領書(本書)	1	本書は大切に保管して下さい。

■取付上の注意

- (1) 本商品は「道路運送車両法の保安基準」を満足していますので、一般公道でも安心してご使用頂ける保安基準適合マフラーです。但し、マフラー以外の改造を行っている場合、または使用状況等によってはその限りではない場合もありますのでご了承下さい。
F Sports Parts(TRD) サスペンション、エアロパーツとの同時装着は問題ありません。
他社製品のサスペンション等を取付ける場合は下記警告1・2を遵守の場合は問題ございません。
- (2) 保安基準適合の為、取付は純正と同様、触媒やシールド等を取外さず必ず上記適合車種に取付けて下さい。

- ⚠ 警告(1) 車高を下げた改造を伴う場合、**最低地上高90mm(注1)**を確保して下さい。
(注1: 車両のホイールベース、オーバーハングの値によって変わる場合があります)
- ⚠ 警告(2) 車高調整タイプのサスペンションキットを装着した車両で一般公道を走行する場合は、必ず現車にて**最低地上高90mm**の確保を行って下さい。
- ⚠ 警告(3) 本商品の分解・加工は絶対しないで下さい。破損や事故の原因となる場合があります。
- ⚠ 警告(4) 本品を適合車種以外には絶対に使用しないで下さい。破損や故障の原因となる場合があります。
- ⚠ 注意(1) 本商品の取付ならびに交換作業は必ずレクサス販売店で作業を行って下さい。
- ⚠ 注意(2) 交換の際は、必ず該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項を守って作業を行って下さい。
- ⚠ 注意(3) 交換の際は、エンジンを停止して冷却を確認してから行って下さい。火傷や事故の原因となる場合があります。
- ⚠ 注意(5) マフラーサポート取付けの際、取外し時に使用した潤滑剤が付着したままで取付けるとマフラー出口位置が変化する場合があります。完全に脱脂したサポートをご使用下さい。
- ⚠ 注意(4) 取付後は換気の良いところで排気漏れや干渉がないか必ず確認して下さい。正しく装着されていないと保安基準に適合することが出来ません。

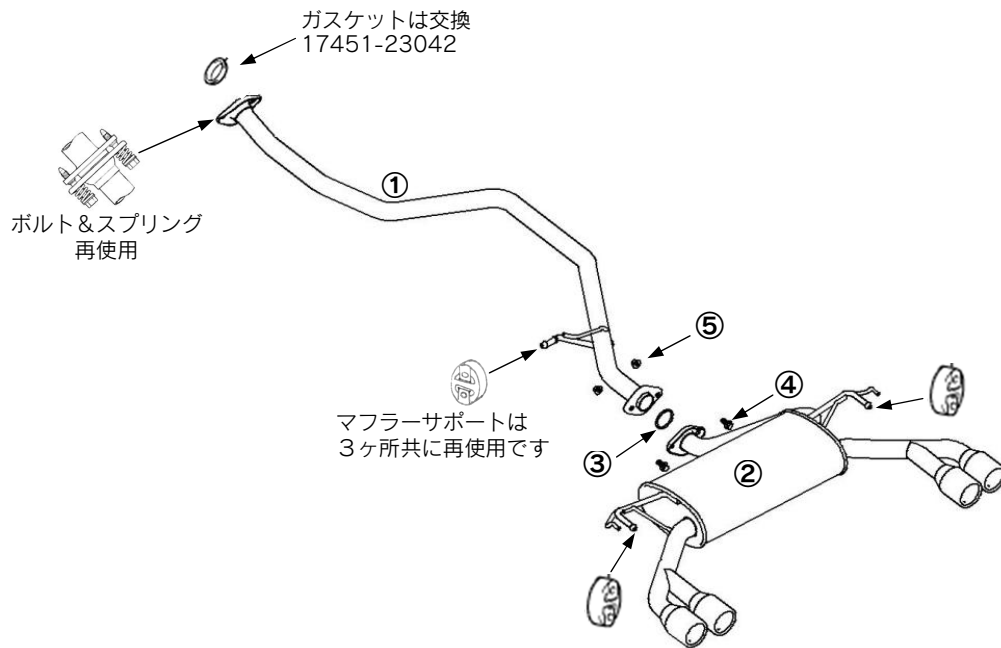
Racing Development



トヨタ テクノスポーツ株式会社・TRD

〒222-0002 横浜市港北区師岡町800 TEL (045) 540-2121 FAX (045) 540-2122

構成図



仕様

エキゾーストパイプ：パイプ部 F r 側φ42.5、R r 側φ42.5
 出口テール : φ70.0 デュアルテール

■取付要領 (最下段に記載の注意事項を確認後、作業を始めて下さい)

- (1) 純正のテールパイプを修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従って取外す。

△注意：車両センターパイプと純正テールパイプ部の締結ボルト&スプリング、マフラーサポートは再使用します。

- (2) 構成品①のセンターパイプ A s s y を車両のセンターパイプに純正ガスケットを使用して取付け、マフラーサポートを掛ける。

△注意：車両側パイプとの締結は**仮締め**として下さい。

- (3) 構成品③④⑤を使用して②のメインマフラーを取付け、マフラーサポートを左右共に掛ける。

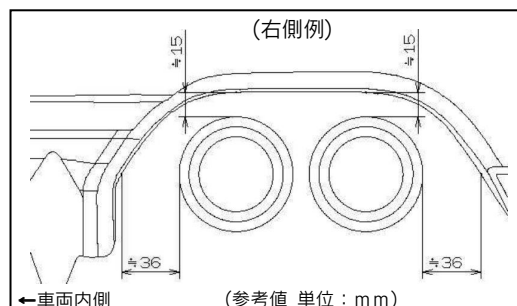
△注意：メインマフラーフランジ側からボルトを入れ、センターパイプ側をナットで留めます。この部分の締結は**仮締め**として下さい。

- (4) ②メインマフラー左右の出口位置(リヤディフューザーと干渉せず、開口部のほぼ中央の事 *下図参照)を確認しながら、①センターパイプとの締結ボルト・ナットを43N・mで**本締め**けをする。同様にメインマフラーの出口位置を確認しながら①と車両センターパイプとの締結部を29N・mで**本締め**けして、取付け終了。

- (5) 取付後、メインマフラーを軽く左右に揺すり、他部に干渉しない事を確認する。

- (6) 走行する前にアイドリング状態で15分程の慣らし運転を行い熱入で油分を飛ばした後、5Km程度の通常走行を実施し各部のボルトに緩み、マフラー後端位置に変化がないかを確認する。

リヤディフューザー
形状及びマフラーの
テール位置参考寸法



(マフラー取付時の注意事項)

純正マフラー取外しの際に使用した潤滑剤がマフラーサポートやフックに付着していると、走行時にマフラーのテール位置が変化したり、横方向の強い力が加わった際、マフラー後端とリヤディフューザーが干渉する可能性があります。マフラーサポート取付時、サポートやフックに潤滑剤を使用する事はお止め下さい。取外時に潤滑剤を使用した際は、マフラーサポートとフックを完全に脱脂した後に取付けてください。

Racing Development



トヨタ テクノロジ株式会社・TRD

〒222-0002 横浜市港北区師岡町800 TEL (045) 540-2121 FAX (045) 540-2122

■取扱上の注意（ご使用になるお客様へ）

- ⚠ 警告（１）車高を下げた改造を伴う場合、**最低地上高90mm（注１）**を確保して下さい。
（注１：車両のホイールベース、オーバーハングの値によって変わる場合があります）
- ⚠ 警告（２）車高調整タイプのサスペンションキットを装着した車両で一般公道を走行する場合は、必ず現車にて**最低地上高90mm**の確保を行って下さい。
- ⚠ 注意（１）取付直後の走行時、異臭の発生がありますが異常ではありません。いつまでも消えない時はレクサス販売店にて点検を受けて下さい。そのまま走行を続けると破損や事故の原因となる場合があります。
- ⚠ 注意（２）本商品を取付ますとエンジン回転のフィーリングに変化が生じます。車両に慣れるまではエンジン回転に十分注意して走行して下さい。事故の原因となる場合があります。
- ⚠ 注意（３）走行後、枯れ草や紙屑等、燃えやすい物の近くに駐停車しないで下さい。火災や事故の原因となる場合があります。
- ⚠ 注意（４）運転中に不具合（異音、振動等）が発生した場合、直ちに車を安全な場所に停車させ、取付けたレクサス販売店に連絡を取り、点検を行って下さい。そのまま走行を続けると破損や事故の原因となる場合があります。
- ⚠ 注意（５）マフラーに凍結防止剤（塩化カルシウム等）が付着した場合は速やかに流水洗浄して下さい。付着したままで御使用になられますと、マフラーの変色および錆の原因となります。
- ⚠ 注意（６）テール部分は冷熱の繰返しにより、多少、色味が変化する場合がありますが異常ではありません。
- ⚠ 注意（７）走行直後のマフラーは非常に高温となつております。その為、触れると火傷の恐れがあります。荷物の出し入れやお子様の接近等、十分に注意して下さい。